BL2Cユーザー研究会：
「 PFの挿入光源における新しい研究の探究」

- 2009年1月13日（火）～14日（水）-

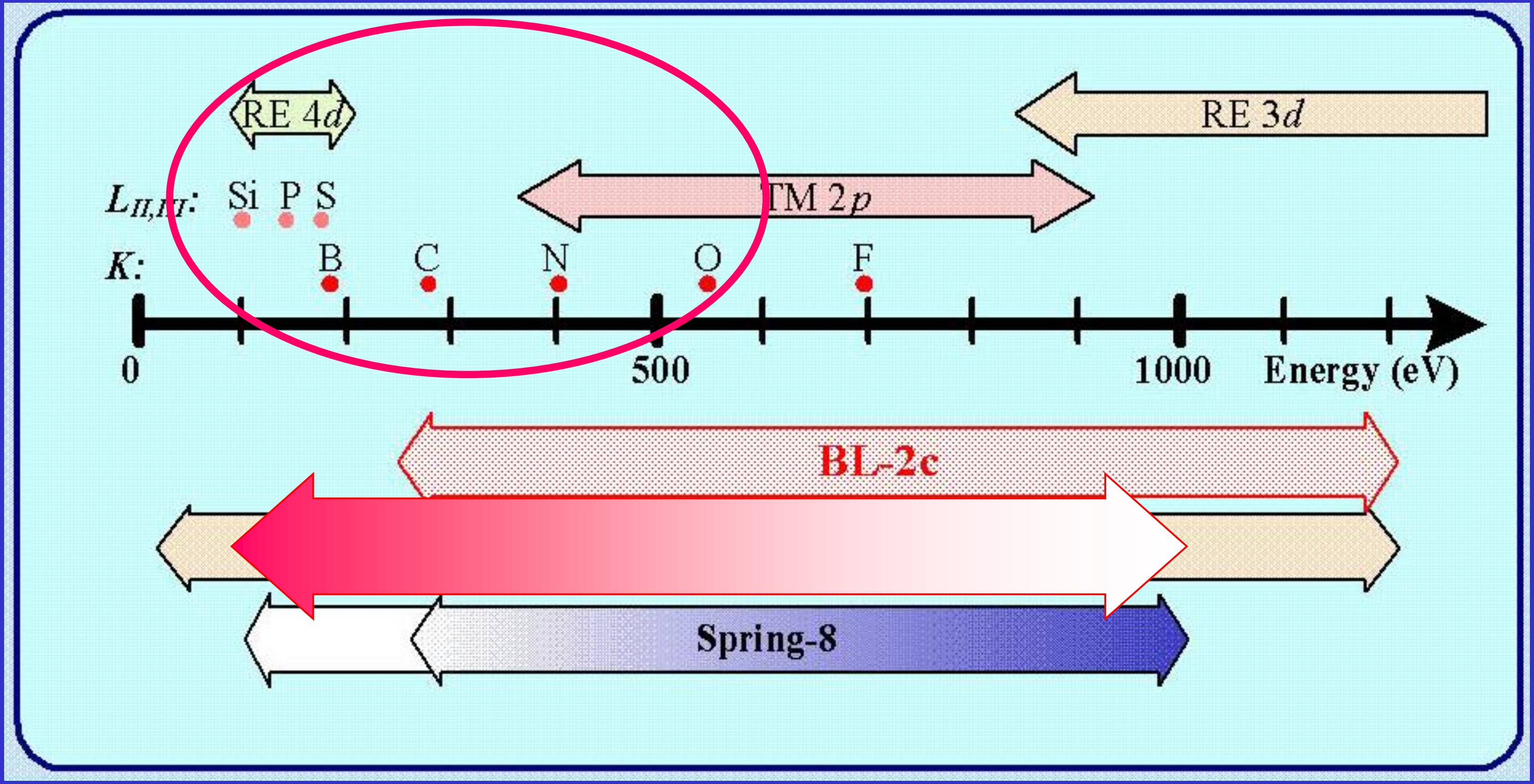
協力

- 測定物質での協力
  - 発光と光電子は相補的
  - 分子の発光（BL2cでは難しいけど･･･）
- 手法での協力
  - コインシデンス･時間分解
  - 角度分解
  - 偏光依存性

要望

- 共通要望
  - **装置の固定化**
  - ビームライン･アンジュレータの自動化（遠隔操作）
  - 低エネルギー化

今後の展望2



RE 4d
RE 3d
$L_{II,III}$: Si P S
TM 2p
K: B C N O F
0
500
1000
Energy (eV)
BL-2c
Spring-8

要望

- 共通要望
  - **装置の固定化**
  - ビームライン･アンジュレータの自動化（遠隔操作）
  - 低エネルギー化
- 固体分光
  - 安定化（エネルギー、ビーム位置）
- 発光
  - 偏光可変化
- ユーザーから施設へ
  - ビームタイムの確保
  - ビームタイム配分の柔軟性
  - 非課金･旅費の確保

懸案事項

- フラックス
- 輝度
- 分解能
- 偏光可変

⇒ ビームラインの設計